



元気 友達 笑顔 いっぱい かがやく

令和8年度7・8月号

小田小だより

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL045(775)3011

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koda/>

横浜市立小田小学校

小田小学校も35歳になりました

校長 こなだ ひろき 小灘 洋生

6月24日は小田小学校の創立記念日です。本校は平成3年(1991年)に開校し、今年で満35周年を迎えました。今年度は36年目にあたります。

6月24日が創立記念日となっているのは、学校建設に伴う鍬入式がこの日に行われたことを記念しているためです。

毎年行われている創立記念式では、校長や担当職員から、小田小学校の開校に関する話や、当時の地域や周囲の様子について紹介しています。今年度も同様の内容で実施しましたが、35周年を迎えた今年は、それに加えて「35周年を祝う会」を行いました。

この「祝う会」は、児童が企画・運営したものです。誰かに向けた発表ではなく、「小田小学校の誕生日をお祝いする」という思いのもと、小田小学校へのケーキや歌のプレゼントなど、学校への愛があふれる温かい会となりました。

また、子どもたち同士で出題し合った「小田小クイズ35連発」からは、それぞれの視点で学校を見つめていることや、小田小学校を大切に思っている気持ちが伝わってきました。

創立記念式では、次の3点について話をしました。

① なぜ小田小学校をつくる必要があったのか ② どのような手順で開校に至ったのか(特に学区について) ③ 最初の小田小学校の児童はどこから来たのか

子どもたちにとって、「初めはみんな転校生(新1年生を除く)だった」という事実は意外だったようで、驚きの声が上がりました。

また、創立5周年の記念誌に掲載されていた、開校当時6年生だった児童の作文も紹介しました。その中には、転校当時の率直な思いが記されています。

「小田小になんて行きたくなかった。卒業前の1年間だけ、どうして学校をかわらなければならぬのだろう。どうして小田小なんて出来たのだろう。」とはじめは思っていたそうです。しかし、その後、「でも最後の一年間を思いきり楽しんで、最高の思い出を残したい、と思うようになった。それは私の心の変化でもあり、周りの変化でもあった。私が心を開けば皆はそれを受け止めてくれる。私が小田小を好きになって、学校生活を楽しもうと努力すれば、きっとそうなるのだ。」と気持ちが変わっていきます。

そして最後には、「卒業前、私は自分で認めるのは悔しいけれど小田小が大好きになっていた。」と振り返っています。

学校の歴史をつくっていくのは、その時々子どもたちです。これからも、今いる子どもたちとともに、大好きな小田小学校をつくっていきたいと思います。

職員室の改修工事が始まります。

工事期間中は教室棟2Fの1年生、2年生の学年ホールを仮職員室といたします。

皆様にもご不便をおかけするかと思いますが、ご承知おきください。